

平成27年度 学校自己評価報告書

学校法人 久留米ゼミナール

専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ

平成 27 年度 学校自己評価報告書

1. 学校の教育目標

教育目的は、学則第 1 条に明記している「社会福祉士及び精神保健福祉士受験資格取得のための指定科目の履修、また、社会福祉主事、医療・調剤事務を行える人材を養成することを目的とすることである。

(1) 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色をとらえているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・各学科に教育、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

●本校の教育理念、また、各学科の教育目標等は「学生便覧」に記載しており、オリエンテーション及び「共生館通信」を年 2 回、各々 2,500 部発行し、周知徹底している。ホームページもデザイン・内容を見直し、学校情報の充実を図っている。また、実習・ボランティアを通じた校外活動も継続し周知していく。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意
その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

○ 本年度への活用

①学校の概要、目標及び評価 ②学科の教育（カリキュラム、年間教育） ③教職員 ④キャリア教育、実践的職業教育 ⑤様々な教育活動、教育環境 ⑥学生の生活支援 ⑦学生給付金、修学支援 ⑧学校の財務 ⑨学校評価 の各項目をHPに記載し、会議時の説明及び委員意見等を反映

○ 次年度への活用予定

次年度もHPを逐次更新し、関係者等に周知

(2) 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

●本校の組織運営及び管理は、学校法人久留米ゼミナールの理事会、評議会のもと専門学校においては校長を責任者とし、職員会議を議決機関とし意思決定を行っている。また、本校の校務分掌組織は組織図に明記されている。なお、限られた人員により運営しているため、各職員に振り分けられる担当業務も多数となり、各担当業務の合理化と平準化が検討課題である。

●年度毎に「学年暦」を作成し、年度初めの全体会議で提示している。

●各部署、関係法令に遵守し、学校運営を行っており、場合によっては関係機関へ問い合わせ等を行い対処している。

●部署長会議や職員会議を通じ、教育活動について全職員に周知徹底をしている。

●情報システムによる業務の効率化については、依然として一部で紙媒体を使用している状況である。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意

その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

○ 本年度への活用

組織内の文書は一部紙面で行っているのが現状であり、PCで閲覧等を行えば迅速に処理する事ができるがそれまでには至っていない。まずは、可能な範囲でPCでの確認を実践していく。

○ 次年度への活用予定

上記に同じ

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業、関係施設などや業界団体などとの連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習など）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施、評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価、単位認定、新旧、卒業判定に基準は明確になっているか	4
・資格取得などに関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

●人材（専任教員）の確保については専修学校設置基準を始めとした関係法令により教員資格が定められており、基準に従った人材を確保、育成をしている。また非常勤講師についても基準を満たした第一線で活躍している人材の確保ができており、多くの現役の方々の協力を得ている。ただ、専任教員の確保については、多様化した学生の現状から専門性レベルだけでなく、学生にわかりやすい授業ができる教授力を備えた教員の育成、確保の継続が必要である。

●カリキュラムは各学科の教育目標を基礎に、法令等の指定を受けた学科はそれぞれの資格取得に関わる指定基準を満たしたものとなっている。

●学生が授業を受けるにあたって、シラバスを配布し、授業の位置付け、授業の目的、授業の到達目標、成績評価の方法と項目、授業計画等を予め知り、授業に興味、関心を持ち、理解を深められるようにしている。

●学生による授業評価は、「授業アンケート」をすべての授業科目に対して実施している。

●成績評価及び単位認定は、「学則」に従い厳正に行っている。

●資格取得は、特別授業、放課後学習、受験対策講座、模擬試験等を計画的に実施し、取り組んでいる。

【学校関係者評価委員会意見】

- ※ 人間力を育てる学習等、カリキュラムへの反映はどのようなものを行ってきたか。
- ※ 検定試験等の学習以外に、実際の現場で処理する用語の具体的な内容も盛り込んでどうか。
- ※ 今後、全学科接遇系の授業を取り入れることを検討してもらいたい。

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
 - ① 通常の講義だけでなく、グループワークも取り入れ、「考える」時間を増やし、また、その発表を行わせることで発言力の向上を図った。
 - ② 自習時間を予め確保し、知識の定着化を図った。
- 次年度への活用予定
 - 今年度の新規事項を来年度の教育計画へ継続反映

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

- 就職に向けた相談、支援、指導は、本人・担任・就職支援室が一体となり目標を達成している。
- 担任は、日常の出欠席や遅刻、学校生活や授業態度などについて個別面接を通して定期的に確認し、退学の兆候やサインを見逃さないようにし、退学の予防を図っている。しかし、毎年、基礎学力や生活態度に不安のある学生が相当数入学してきており、教員の個人的な努力では、退学の予防を対応しきれない状況になってきている。教職員全員で学生相談を行い、退学を未然に防ぐ努力をしている。

【学校関係者評価委員会意見】

※評価を3にしているものは、結果のみで判断するのではなく、その取り組み内容を加味して評価した方が良いのではないか。しっかり予防対策を図っているのであれば、評価4でも良いのではないか。

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
本年度の実施要領を継続
- 次年度への活用予定
次年度も現要領を継続、特に退学率の軽減に重点を指向し、三者面談、個別面談を適時行い、親身な心情(身上)の把握による適切な指導を継続して行っていく。

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	3
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

- 就職活動支援の専門部署として、就職支援室を配置している。
- 就職対策として、卒業生講話会、スマイル講座、マナー講座等を新しく取り入れ、指導強化した。
- 学生の相談、援助については原則担任が対応している。また、必要に応じ、学生の状況を保護者へ連絡し、家庭と協力した相談、援助を行っているが、様々な理由で、保護者の協力を得にくい環境の学生も年々増えている。
- 日本学生支援機構を始めとした公的機関の奨学金制度の案内及び取次ぎ事務を進めている。また、学費に関しては、分納、延納制度を通して支援を行い、柔軟に対応している。
- 学生の健康管理に対し、チューター活動、個人指導、年毎の健康診断等を通じ、把握に努めている。
- 課外活動に対しては、ボランティア情報を学生に広く周知し、資格の面でも支援している。
- 自立した社会人ニーズを身に付けさせる為に、今年度から学生のマナー指導に全職員で取り組んでいる。
- 高校等との連携した教育に関しては、本校の福祉、介護の授業を受講し、又、現場実習体験を通じ、高校との連携を行っている。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意
その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
学生のボランティア参加に対する現要領を継続し、レクリエーション・インストラクター資格取得に対して支援
- 次年度への活用予定
次年度も現要領を継続

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

●施設・設備は、現行の教育に十分対応できるものであり、専門教育に必要な設備・機器は、劣化への対応はもちろんのこと、社会ニーズや教育内容、教育方法の変化、発展に合わせて更新、改善できるように管理している。

●学習方法、指導方法の多様化が進んでいることから、特に視聴覚、IT関連の設備・機器については、年間の使用計画と予算に基づいて、毎年、定期的に可能な限り最新のものに更新している。

●実習先は、指定の要件を満たし、学科の教育目標を達成するために適した所を第一に考慮し、学生の学習の場として相応しいかどうかを十分に検討して選定し、依頼している。

●実習中は、専任教員と実習指導担当教員を実習先に配置し、また、定期的に訪問し、学生の状況を把握すると共に実習指導者とのコミュニケーションを図り、連携して学生指導を行っている。

●防災設備点検は、法令及び消防計画に基づき毎年1回実施している。又、学生を交えた避難訓練も継続して実施している。

【学校関係者評価委員会意見】

※防災体制に加えて、防犯対策についても評価項目に盛り込んではどうか。防犯について警察との連携や外部の方が入りにくい環境を作ることも事件等の防止になるのではないかな。

【評価結果活用実績】

○ 本年度への活用

消防署への届出をもとに、消防署の協力・指導による避難場所への実践的な防災訓練の実施

○ 次年度への活用予定

・次年度の防災訓練も、協力・関係機関を交え実施を継続

・防犯対策についても、県や警察からの案内を学生に周知、また公的機関への研修依頼も検討していく。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

- 少子化、福祉分野の人気低迷に伴い、依然学生募集が厳しい状況下、高校訪問や各進路ガイダンスへの参加、オープンキャンパス等にて、適切・適正な情報提供を行い募集活動を行っている。
- 高校訪問・進路ガイダンスにおいては、地元を中心に沖縄県を含む九州一円を募集エリアとし、全職員で取り組んでおり、高校教員・高校生への宣伝強化を図っている。
- 入学案内・パンフレット・各種チラシ・ポスター・ホームページ・DM等での情報提供については、高校教員・高校生・保護者に分かりやすく興味を持って見てもらえる必要があり、様々な観点から適切性について常に点検している。
- 教育成果として、在校生の学校生活状況や実習活動状況、資格取得状況、就職内定報告等、適宜出身高校へ報告を行っている。
- 学納金は、社会情勢や他校の状況等を踏まえて毎年検討を重ねており、妥当なものであると考えている。

【学校関係者評価委員会意見】

※福祉の魅力をどのように伝えているか。

※在校生、卒業生等、多方面の意見もHPで公開してはどうか。

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
本年度の実施要領を継続し、ホームページの強化を図っていく
- 次年度への活用予定
次年度も現要領を継続

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算、終始計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

●学校運営にとって、財政基盤の安定確保は最重要課題であり、18歳人口の減少や、大学全入時代の環境のなか、引き続き学生確保は厳しく、法人全体としても厳しい予算編成を強いられており、昨年度までは、学生増になっていたが、今年度は昨年度より入学者は微増したが、全校学生数は減少した。今後は、時代に対応できる教科の見直しを図り、又、新たな学科新設に向けて取り組んでいる。

●会計監査については、法人本部の所管で、外部監査、及び内部監査を適切なスケジュールで実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意

その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

○ 本年度への活用

高卒者は、受験資格は誰でもあるが、既存の学生と年齢差がある方は特に慎重に受け入れを行っている。

○ 次年度への活用予定

次年度も、より理解容易・分り易いものへ修正を図り、HPへ反映

社会福祉士に現役で合格できる専門学校の仕組みを作っているのは、全国で本校のみというセールスポイントをさらにPR

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実態と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

- 本校は、専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあつてはその指定に関わる基準等を遵守し、適正な運営をしている。
教育基本法、学校教育法、専修学校設置基準を基本に、設置学科に適用される社会福祉士、精神保健福祉士に関する法令等をはじめ、関係する諸法令を遵守している。
- 個人情報については「個人情報保護基本方針」「個人情報の保護に関する規則」を定め、継続的に保護を実施している。
- 自己点検・自己評価については、実施方法に関する知識不足・評価要因が確保できない等の理由により実施体制の構築が進まず、平成19年度から平成24年度までは、授業アンケートによる授業評価程度であったが、平成25年度より現行の形となり、HPで自己評価の公開を継続している。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意
その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
各クラスホームルーム（チューターアワー）や面談での注意喚起を継続
- 次年度への活用予定
次年度も現要領を厳正に継続

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

- 学生のボランティア活動の奨励、支援については、福祉系学科においては実習先からの依頼を始めとして積極的に推進、支援している。しかし、学校に文書により正式に依頼されたボランティアについては、奨励しているものの、高学年になるにつれて参加率が低下する傾向があり、今後の課題である。

【学校関係者評価委員会意見】

※自己点検結果の各項目について、各委員が同意
その他の意見については特になし

【評価結果活用実績】

- 本年度への活用
ボランティアへの積極的参加について、各職員がホームルーム（チューターアワー）で奨励及び紹介し、且つ全員が確認できるように各案内を掲示板に掲示し、奨励を継続した。
- 次年度への活用予定
次年度も引き続き、参加奨励を継続、施設を活用した社会・地域貢献を検討していく。